

長野県の白馬村という、人口8000人の雪と山しかない小さな村から。
ChatGPTとともに、もうひとつの“脳”を持つようになった男が、
今日、あなたの働き方と、
少しだけ、人生の見え方を変える話をしにきました。
声が届くまで、しばらく、お待ちください。

これは“AIや知財の講演”ではありません。
これは、“あなたの仕事に、もう一度誇りを取り戻すための講演”です。



知的財産セミナー ChatGPTで変革する知財DX

～中小企業のためのAI活用戦略～

2025年7月18日 14:00～16:00

主催：福山商工会議所(備後知財経営研究会)

共催：(一社)広島県発明協会備後支会

講師：高山嘉成（たかやま特許商標事務所 代表弁理士）

<https://takayama-patent.com/>



講師自己紹介

■ 講師自己紹介

高山 嘉成（たかやま よしなり）

たかやま特許商標事務所 所長／弁理士

【略歴】山形大学理学部数学科卒

2004年 弁理士登録（知財業務歴20年以上）

2005年 たかやま特許商標事務所開業 現在、顧問・コンサル企業20社以上

2021年 白馬村に本店移転（完全テレワーク対応）

【趣味】：ギター弾き語り

【業務実績】

期間	2005（平成17）年11月～2024（令和6）年6月
----	-----------------------------

実績数	◎特許・実用新案の権利化業務：379件 ◎意匠の権利化業務：254件 ◎商標の権利化業務：611件 ◎特許・実用新案・意匠の無効審判関連業務：31件 ◎商標の異議申立・審判関連業務：29件 ◎特許・意匠・商標の訴訟関連業務（補佐人・補助業務）：20件
-----	--

【ChatGPTセミナー 続々登壇中！】

- ・ 2024年7月 長野県主催 知財フォーラム2024
- ・ 2024年11月 長野県発明協会主催 知財DX
- ・ 2025年5月 発明通信社主催 ChatGPT×調査
- ・ 2025年6月 日本弁理士会 知財業務再構築
- ・ 2025年7月 （株）技術情報協会

今日の話の全体構成

■ 第1部（全体の1/4）

◆ テーマ：ChatGPTって何？「命令するAI」ではなく「一緒に考える相棒」へ

🕒 所要時間目安：14：10～14：35

■ 第2部（全体の2/4）

◆ テーマ：知財とは「創造の形」——だからこそ、ChatGPTと相性がいい

🕒 所要時間目安：14：35～14：55

■ 第3部（全体の3/4）

◆ テーマ：“整理し、考え、書く”知財実務に、ChatGPTは最適な伴走者

🕒 所要時間目安：14：55～15:25

■ 第4部（全体の4/4）

◆ テーマ：“やるべきこと”ではなく、“やらなくていいこと”を手放すために使うAI

🕒 所要時間目安：15:25～15:40

第1部 ChatGPTって何？「命令するAI」 ではなく「一緒に考える相棒」へ

1 : あなたは、AIとどう付き合いますか？

- ChatGPTに「どう命令すればいいか」ではなく、**どう一緒に考えてもらうか**
- 今日ここに来た皆さんにとって、AIは**“業務効率化の道具”である前に、“生き方の選択肢”でもある**ということを伝えたい

2 : ChatGPTの正体 : 答えを持っているわけではない。でも、一緒に考えてくれる。

- ChatGPTはGoogleとは違う。調べ物の答えがすぐ出てくるのではない
- ChatGPTは「考える相手」「問い返してくる相手」「話し合える相手」
- 「先生」ではなく「もう一人の自分」

■ 仕組み理解のための典型例

1. ChatGPT内部では、文脈「私は今日、朝パンを」までを受けて、次に来る語の確率分布を計算

高確率 :

「食べた」(0.83)

「焼いた」(0.09)

「買った」(0.03)

低確率 :

「電車」(0.001)

「本」(0.0004)

✦ この“次に来る言葉の確率”を元に、ChatGPTはリアルタイムに文章を組み立てています！

■ なぜ会話が効果的か？

- ChatGPTは**文脈（これまでの会話）**を常に加味しながら出力している
- だから、指示を一発で出すより、**会話を重ねて文脈を育てたほうが自然な応答が得られる**
- 会話型プロンプトこそ、ChatGPTの仕組みに合った使い方！



■ 命令型プロンプトの実行例

【プロンプト】

「役割： あなたは営業レポート作成の専門家です。

目的： 営業実績データを月別に整理し、1行コメントを付加して報告書にまとめること。

形式： 月別の表形式（列：月 | 売上 | コメント）で出力してください。

制約条件： 各月のコメントは1行以内、簡潔かつ明確に記載すること。」

【出力例】

月	売上	コメント
1月	320万円	新規顧客の獲得が寄与
2月	400万円	成約件数が安定して増加
3月	280万円	新規開拓の反動で減少傾向

■ 命令型プロンプトのポイント整理

【プロンプト】

- 一度に「役割」「目的」「形式」「制約」を明確に伝える
- 汎用的な情報整理・表形式出力に強い
- 出力の安定性・スピードを求める場面に最適

✦ ChatGPTは、次にくる文章を予測して出力する装置です。
ルールベースの処理を依頼すると、思い通りの出力にならないことがあります。



■ 会話型プロンプトの実行例

ユーザー :

「今度の営業報告って、どんな視点でまとめるとよいでしょうか？」

ChatGPT :

- 売上や受注件数の推移を中心にする
- 施策の実施内容とその評価
- 顧客からの声や課題への対応の工夫
- チームや他部門との連携状況

ユーザー :

「今回は“取引先との関係強化”に重点を置きたいんですが」

ChatGPT :

- 契約更新・追加発注の有無
- アフターサポート体制の改善点
- 顧客満足度調査の結果
- 担当者別のアプローチ方法の違い

📌 会話の中で“何を伝えたいか”が自然に整理されていく

2025年1～3月 営業報告書

14 : 10～14 : 35 8/19

1. 月別活動・成果・気づきまとめ

月	主な活動内容	商談・成果	気づき・学び
1月	キャンペーン製品のSNS発信を主導	DM問合せ30件 → ZOOM商談25件 → 正式依頼2件	SNS発信をきっかけに想定以上の反響があり、発信内容次第で商談機会を創出できることを実感しました。
2月	SNS発信継続／紹介経由で10社訪問	正式依頼1件	SNS経由のお客様は元々関心の高い層のため成約率が高いと想定していましたが、紹介のお客様でも高い成約率が得られました。その理由はまだ明確には把握できていませんが、今後の面談を通じて探っていきたいと感じています。
3月	既存顧客への在庫確認メール・訪問	リピート受注5件	丁寧なフォローがリピートにつながることを体感し、既存顧客への対応の重要性を学びました。

2. 売上実績

月	売上（税抜）
1月	600,000円
2月	800,000円
3月	1,000,000円
計	2,400,000円

3. できたこと・できなかったこと（自己評価）

できたこと：

SNS活用によって自発的に商談機会を生み出せた
初めてのZOOM商談や訪問を通じて、提案から見積提示までの流れを一通り経験できた
既存顧客に対するフォロー施策（在庫確認）でリピート受注につなげることができた

できなかったこと：

商談後のフォロータイミングや手段に迷い、次のステップにうまくつなげられない場面があった
資料作成に時間がかかり、提案のスピード感を出せなかった

■ 会話型プロンプトのポイント整理

- ユーザーがまだ明確に言語化していない“意図”を対話で深掘りできる
- 話しながら「本当に伝えたいこと」がクリアになる
- ブレストや構成案出しに適しており、発明や企画検討との相性が抜群！

 会話の中で“何を伝えたいか”が自然に整理されていく

3 : 命令型ではなく、対話型が強い理由

- よく「こういうプロンプトを書け」というハウツーが出ているが...
- 実際には「相談する」→「聞き返してくれる」→「一緒に深掘る」この流れが大事
- 人との会話と同じで、相手を信頼して文脈を積み上げた方が力を発揮する

4 : 最近のChatGPTは“やりたいこと”から始められる

- 「やりたいことを言えば、何を入力すればいいかChatGPTが教えてくれる」
- つまり、“完璧なプロンプト”を考える必要はない
- 例 : 「新しい商品のアイデアを考えたい」
「上司への説明資料をつくりたい」
→ 必要な情報を教えてくれる

アイデアブレスト入り口

<https://chatgpt.com/share/68752621-7174-8004-9904-485c7118fa9c>



5 : 日常業務で、こんなふうに使えます（例）

目的	ChatGPTの使い方
メールの下書き	口頭で話すように入力 → 丁寧語に直してくれる
会議メモの要点整理	「この文章を3行にまとめて」
考えがまとまらない	話しながらまとめてもらう
新しい提案を練る	条件を出して「もっと他の案も」と聞き返す

- 「なにかを完成させる道具」ではなく、「整理しながら、形にしていく相棒」
- 「ChatGPTを使う」→「ChatGPTとやる」という感覚に変わる

メール作成依頼

<https://chatgpt.com/share/687529a0-fd2c-8004-8bde-87a8a4998ac9>



5 : 日常業務で、こんなふうに使えます（例）

国際出願の要約

<https://chatgpt.com/share/68752a91-8de4-8004-b324-5d64c7ff352c>

ソース : <https://www.jpo.go.jp/system/patent/pct/seido/kokusai1.html>



6 : 使う前に知っておきたいこと（リスク管理）

•オプトアウト設定（学習停止）

- 「いいね」「悪いね」ボタンは押さない（押すと学習対象になる可能性）
- セキュリティ上どうしても心配ならAPIサービスを使う
- Plus版（有料） にすることで、**性能・記憶力・精度が格段に上がる**

■ オプトアウト設定の重要性

- ChatGPTには「学習への利用可否（オプトアウト）」設定が存在する（※Web版）
- 設定を「オン」にしていると、入力内容が今後のモデル訓練に使われる可能性がある
- 企業・実務では、「学習利用を拒否する（オプトアウト）」を必須とすべき

📌 Web版：「設定」→「データコントロール」→「すべての人のためにモデルを改善する」→ オフにする

📌 API版はもともと学習には利用されない設計（より安全）



2025/04/29時点設定画面

■【注意】親指ボタン（👍 👎）の意味とデータ利用の関係

- 親指ボタンは「その応答が役に立ったかどうか」をChatGPTに伝えるUIです。
- オプトアウトしている場合でもオプトアウトしていない場合でも：
→ 👍 👎 のフィードバックが、OpenAIのモデル改良に使用される可能性があります。

機能	説明
① 即時の文脈フィードバック	現在の会話内で「参考になったかどうか」の評価として活用され、応答の安定性改善に使われる（表示調整など）
② モデル改善用のデータ収集	ユーザからの評価結果は、OpenAIがモデル改良の参考データとして将来的に使用することがある

📌 安心して使うには、オプトアウト設定＋履歴管理＋👍 👎 を押さないが前提です。

7 : なぜ、ChatGPTを使うと人生が変わるのか？

- 頭の中に“もう一人の自分”が生まれる
- 一人で抱えていた悩みが言語化され、構造化される
- 脳の一部を軽くできる。だから、余裕が生まれ、創造力が戻ってくる。
- それは、AIの力じゃない。あなたの中にある力が戻ってきているだけ



ChatGPT活用の4段階レベル

- ChatGPTの使い方には「成長ステップ」がある
 - ChatGPTは誰でもすぐに使い始められますが、
「使い方次第」で、得られる成果がまったく変わります。
- 活用レベルは4段階に整理できます

レベル	説明
初級	とりあえず聞いてみる（調べ物・要約など）
中級	プロンプトを工夫して、より良い出力を引き出す
上級	ChatGPTとの対話を通じて、視点を整理・深掘りする
超上級	ChatGPTを共創パートナーとして捉え、創造的業務に活かす

「どのレベルが正解ということはありません。」

大切なのは、自分の業務に合った段階から始めて、少しずつ上達していくことです。」

目的の再確認

- 技術への苦手意識を払拭
- 「使ってみようかな」と思ってもらう
- 「AI = 冷たい技術」→「AI = 自分を助ける存在」への転換
- “このあと”に語られる知財の話が、他人事ではなく“自分のこと”として入ってくるように

第2部 テーマ：知財とは「創造の形」 — だからこそ、ChatGPTと相性がいい

1 : 特許、商標、著作権……知財って聞くけど、 なんだろう？

- 「知財 = 特別なもの」と思いませんか？
- 実は、毎日の仕事の中に、すでに“知財のタネ”はたくさんある
- 商品名、チラシのデザイン、新しいサービス…それ全部、知財につながる

2 : ざっくり分けると、知財はこの3つ

分類	説明	たとえ話
特許	技術・仕組みの新しさ	中身の工夫（例：炊飯器の内部構造）
商標	名前・マーク	顔と名前（例：「まるちゃんラーメン」）
著作権	表現・デザイン	詩や曲、デザイン（例：パンフレットや画像）

- 難しい言葉よりも、**自社にある“当たり前”**がどれに当たるか考えてみてください
- 「意外と自分も知財作ってるな」と思ってもらうのが第一歩

3 : でも、知財の本質は“登録”じゃない。整理と思考そのもの

- 登録や出願は**“結果”にすぎない**
- 本質は、「自分の会社の強みって何？」「他とどこが違う？」を考えること
- この“整理と思考”が、実はChatGPTの最も得意な領域

知的財産ってそもそも何

<https://chatgpt.com/share/6875ed38-2e58-8004-9a21-8fa81bce6099>



4 : なぜChatGPTと相性がいいのか？

- 知財は「アイデアの集合体」
- そのアイデアを言語化・構造化・比較・展開するのがChatGPTの得意技
- 特許出願をするしないに関係なく、「考えをまとめる」「他人に伝える」場面で非常に使える

ビジネスアイデア

<https://chatgpt.com/share/6875f19c-1f7c-8004-a734-d8d50dbeba2f>



4 : なぜChatGPTと相性がいいのか？

- 知財は「アイデアの集合体」
- そのアイデアを言語化・構造化・比較・展開するのがChatGPTの得意技
- 特許出願をするしないに関係なく、「考えをまとめる」「他人に伝える」場面で非常に使える

食品

<https://chatgpt.com/share/6875f40f-d808-8004-a149-14b0f3d26387>



5 : 商標 × ChatGPTの実例（簡易）

- 新商品をつくったけど名前が思い浮かばない…
- ChatGPTに「自然派シャンプーで女性向け、英語っぽく」
→ 名前候補が30個出てくる
- そこから選び、自社の理念に合うものを選定 = これが知財的思考

商標検討

<https://chatgpt.com/share/6875f5b9-8368-8004-b455-d780c8d33387>



6 : アイデア出しにも、ChatGPTは生きる

- 「新商品を考えて」「差別化しろ」と言われても、なかなか出てこない
- ChatGPTは“発想の補助輪”になる
- ChatGPTが出した発想をそのまま使うのではなくて、それをもとに人間が考え、やり取りの中から新しい着想が生まれる。

7 : そして著作権の話も少しだけ（生成AIと創作の境界）

- ChatGPTが書いた文章・画像→「著作物」ではないことが多い
- でも、使い方次第で**自分が創作の主体として表現に活かせる**
- 「著作権があるかどうか」よりも、「自分の表現にどれだけ個性を込められるか」が重要

SNSプロの投稿文

<https://chatgpt.com/share/6875f9c0-6e70-8004-8341-ec8fba378a26>



8 : ChatGPTは、あなたの創造力を“翻訳”してくれる相棒

- 頭の中にある「うまく言葉にならないアイデア」を言語にしてくれる
- 「こんな感じのことがしたいんだけど…」→「こう書けば伝わりますよ」と返してくれる
- つまり、ChatGPTは**知財活動の前段階、すべてに寄り添ってくれる存在**

✓ 目的の再確認（このパートの出口）

- 知財を「遠いもの」→「自分の仕事の延長」に感じてもらう
- ChatGPTが単なるツールではなく、「考える時間」「伝える力」に効くと理解してもらう
- 「自分でも何か知財っぽいこと、やってるかもしれない」と感じてもらう

ここで少しだけ一服休憩

第3部 “整理し、考え、書く”知財実務に、 ChatGPTは最適な伴走者

1 : 知財の実務って、どんなことをしているのか？

- 特許事務所の仕事って、実は「紙を書く」ことが中心
- でもそれは、**ただの文章ではなく「思考の成果」**
- 発明の背景・仕組み・効果を正確に、かつわかりやすく伝える必要がある

2 : この“思考のプロセス”こそ、ChatGPTが得意な領域

業務内容	ChatGPTの得意な役割
発明ブレスト	条件の整理・案の列挙・類似性の検討
簡易調査	似たアイデアの存在を仮に探る／説明文の整理
発明提案書作成	整理された構成要素を自然な文に展開
明細書ドラフト	条文的な表現の試案／たたき台
契約書ドラフト	秘密保持契約書（NDA）などの項目案作成・条項比較・読みやすく再整理

14 : 55~15:25 3/20

3 : 実例① : 発明ブレストから明細書案までの流れ (扇風機付き日傘デモ) の例

- ChatGPTとの会話から生まれたとして仮想発明を考えよう
- 会話を通じて、「あ、こういう構造にすればいいかも」が出てくる
- そのまま、仕様・構成要素・課題解決の流れまで発明提案書への展開可能

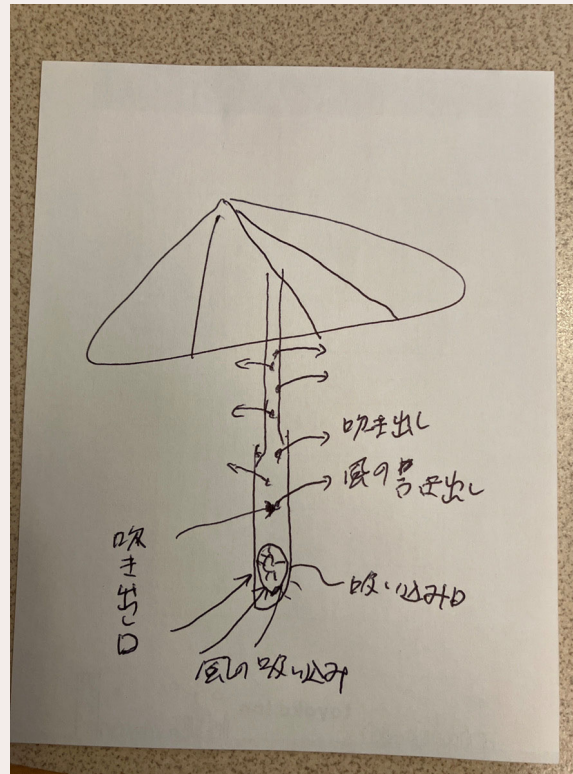
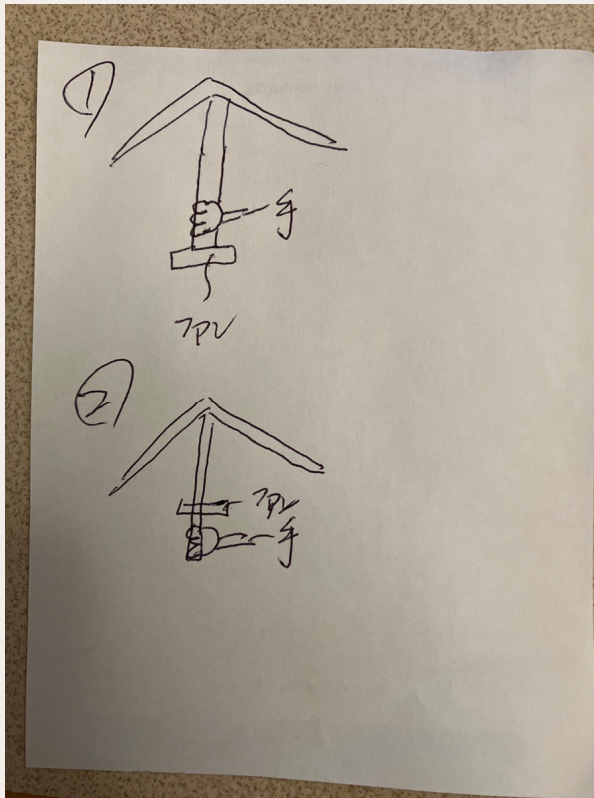
扇風機付き日傘ブレスト

<https://chatgpt.com/share/687677c9-a658-8004-b84e-27d49709cbef>



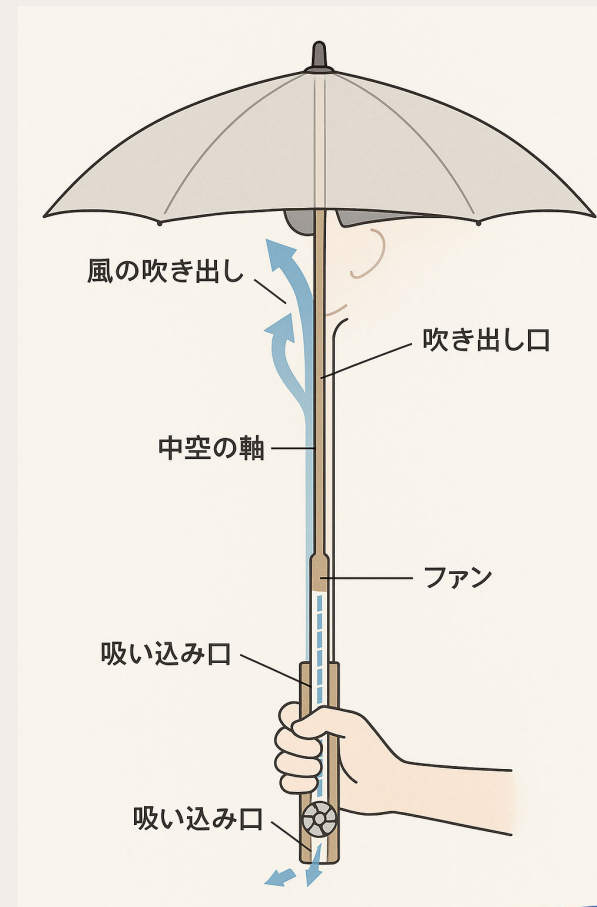
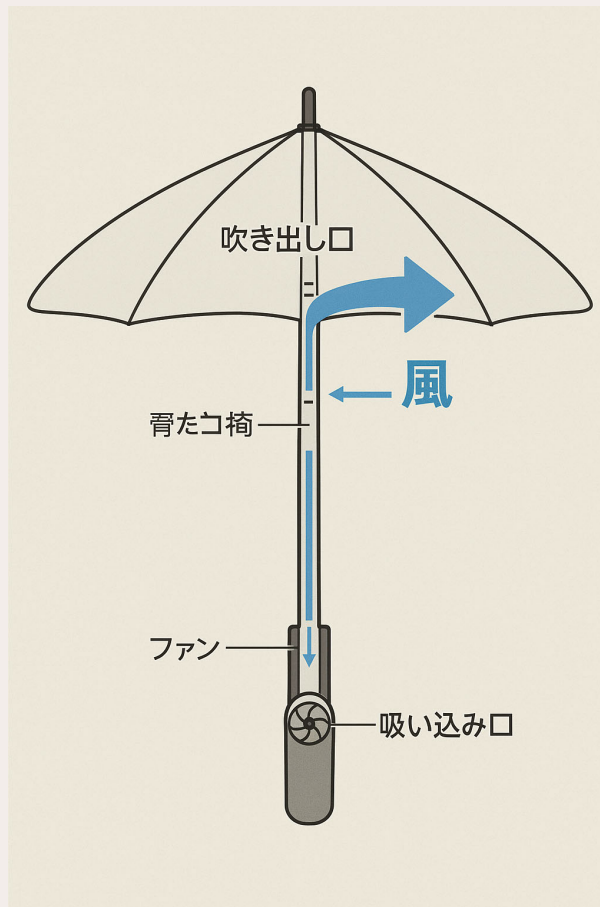
14:55~15:25 4/20

3: 実例①: 発明ブレストから明細書案までの流れ (扇風機付き日傘デモ) の例



14 : 55~15:25 5/20

3 : 実例① : 発明ブレストから明細書案までの流れ (扇風機付き日傘デモ) の例



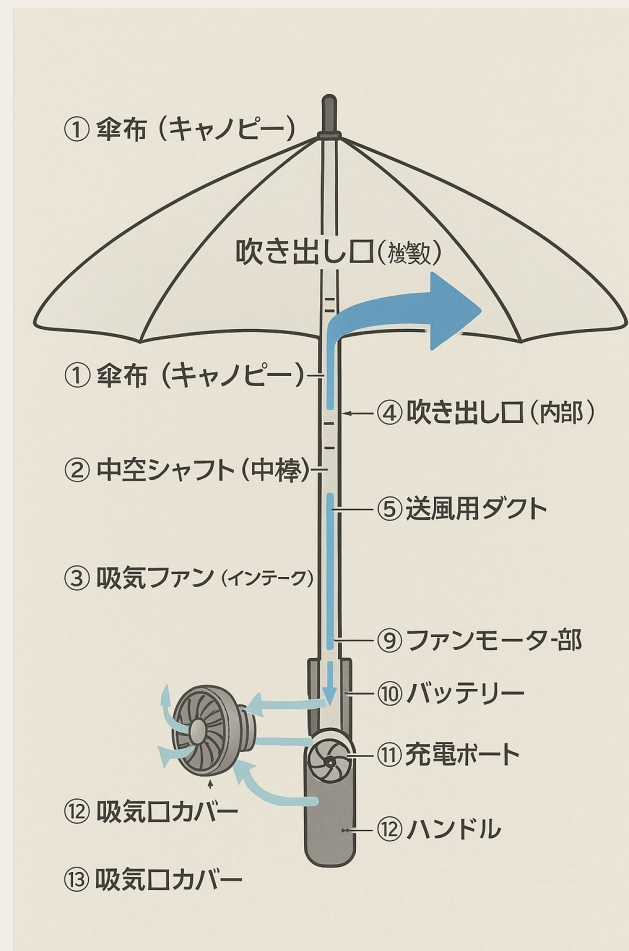
14 : 55~15:25 6/20

3 : 実例① : 発明ブレストから明細書案までの流れ（扇風機付き日傘デモ）の例

部品名	役割	備考・仕様候補
傘布（キャンピー）	日差しを遮断・外観	UVカット／撥水加工／軽量素材（ナイロン・ポリエステルなど）
傘骨（リブ）	傘を開閉・形状保持	アルミ／FRPなどの軽量・高強度素材
中空シャフト（中棒）	傘の軸・風の通り道	中空構造で送風ダクト兼用、アルミ＋ABS等の複合素材
吹き出し口ユニット（複数）	送風口	首・顔・頭部に向けて風を送る。ルーバーや角度調整構造付きが理想
送風用ダクト（内蔵）	風を漏らさず上へ導く	シャフト内部に別途柔軟素材のダクトを設置／遮音・断熱構造も検討
吸気ファン（インテークファン）	空気を吸い込む	軸下部内蔵、静音シロッコファン or 軸流ファン。直径30～40mm程度
吸気口カバー	外部の空気を取り込む	底面または側面にメッシュ状のカバー／フィルタ付き（防虫・防塵）
ファンモーター部	ファン駆動	DCブラシレスモーター／風量3段階切替が理想
バッテリー	電源供給	リチウムイオンバッテリー（3.7V 2000～3000mAh）／充電式
スイッチ部（操作部）	ON/OFF・風量切替	ボタン式 or タッチセンサー式／柄中央または側面に配置
充電ポート	充電	USB-C推奨／ゴムキャップ付きで防滴対応
ハンドル（持ち手）	持ちやすさ・収納部	握りやすい形状（丸型・楕円型）／内部にファン＋電池を収納
電気配線・制御回路	電源管理・風量制御	基板はハンドル内部に収納／過熱・過電流保護回路含む
補強リング（構造支持）	軸と内部構造の固定	ファン～シャフト～吹出口の連結部の補強材（ABS樹脂等）
騒音吸収素材（任意）	静音化	シャフト内壁に吸音スポンジ／風切り音の抑制

14 : 55~15:25 7/20

3 : 実例① : 発明ブレストから明細書案までの流れ（扇風機付き日傘デモ）の例



4 : 実例② : ChatGPTで作る発明提案書

- 例 : 「業務で使ってるこの機械、ちょっと改良したい」→ ChatGPTと会話
- ChatGPTが、背景・課題・解決手段・効果の4段構成にまとめてくれる
- 中小企業の技術者でも、書類の原案を“0→1”で出せる

扇風機付き日傘の発明提案書案

14 : 55~15:25 9/20

1. 発明の名称

中空シャフト送風構造を備えた扇風機付き日傘

2. 背景（課題）

近年の猛暑に伴い、日傘の需要は増加していますが、単なる遮熱・遮光では体感温度を十分に下げることができません。一方、ミニ扇風機やネックファンは携帯性や見た目、両手の使用制限などの理由で敬遠されるケースもあります。

これらの課題に対し、**外観は通常の日傘のままで、内側からそっと風を送る“目立たない涼しさ”を実現する日傘**のニーズがあります。

3. 発明の概要（構造・効果）

本発明は、**日傘の柄（持ち手）に小型ファンを内蔵し、中空構造のシャフト（傘の軸）を送風ダクト**として利用することにより、**傘の中空軸から風を吹き出す構造**を特徴とします。

風は首や後頭部方向に向かって、**中空軸に設けた複数の排気スリットから吹き出される**よう設計されており、

- ・見た目がシンプルなまま
- ・手が塞がらず
- ・かつ効果的な涼感を得られるという効果があります。

4. 従来技術との違い・差別化ポイント

従来技術	本発明の特徴
傘の上部や骨にファンを内蔵 → 重く、風が外に逃げる	シャフト内送風で風を内部から首へピンポイント送風
扇風機付き日傘の見た目が目立つ	外観は通常の日傘と変わらず、スタイリッシュ
風向の制御が難しい	スリット角度と位置を調整し、効果的に首・顔へ送風
両手がふさがるネックファン等	本発明は 完全ハンズフリー で自然な操作性

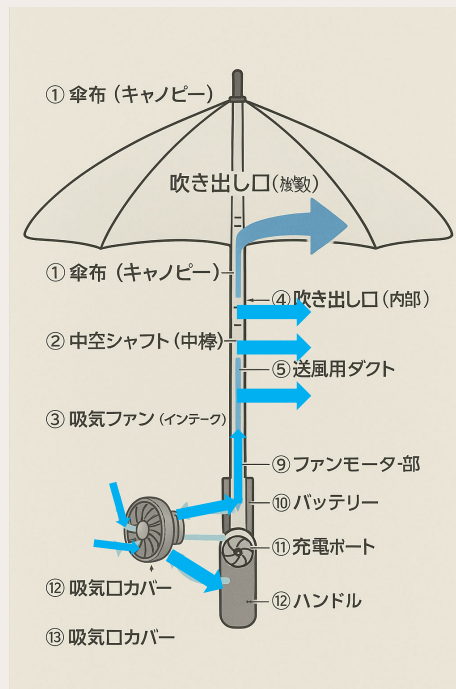
扇風機付き日傘の発明提案書案

14 : 55~15:25 10/20

5. 想定用途・市場性

- 真夏の通勤・外回り営業・屋外イベント
 - 炎天下での高齢者の熱中症予防（介護・散歩用途）
 - 高機能晴雨兼用傘として、アパレル・ギフト市場にも展開可能
- 競合商品は少なく、差別化が明確なため、OEM・D2Cブランドいずれにも提案可能。
特許出願による独占性確保とブランド構築を両立可能。

6. 参考図（簡略）



扇風機付き日傘の発明提案書案

14 : 55~15:25 11/20

8. 付加機能・発展性（取り外し可能ファンモジュール）

本発明におけるファン部は、**日傘のグリップから取り外し可能なモジュール構造**とすることができます。
これにより、以下のような機能拡張が可能になります：

✓ ① 室内用の卓上扇風機モード

- 傘を使用しない時期や場所でも、**単体ファンとして使用可能**
- 本体にUSBスタンドやマグネットベースを装着すれば、デスク・キッチン・洗面所でも活用可

✓ ② 逆回転切替モード（吸気→送風）

- 傘使用時：**送風方向＝上向き**（シャフト内送風）
- 単体使用時：**逆回転で正面送風** → 顔・身体への風として最適化
- ワンボタンでモード切替が可能（スイッチ長押し等）

✓ ③ バッテリー一体型で充電管理も簡易に

- 傘本体に充電ケーブルを通さず、**ファンモジュール単体でUSB-C充電可能**
- 着脱式にすることでメンテナンス・交換性も向上

✨ 効果・差別化

- 夏場だけでなく**年中使えるガジェット**として、消費者の購入心理を後押し
- 「傘の一部にしておくのがもったいない」ほどの小型静音ファンを開発すれば、
→ **本体単体でも売れる**、販路・用途が広がる
- 特許的にも「**可搬型送風ユニット＋シャフト送風傘との合体使用**」は、構成要件としてユニーク性あり

5 : 実例③ : 簡易な文献調査・要約

- ChatGPTは特許庁データベースにアクセスできないので調査は補助的
- まずは、キーワードの検索式を出力させてみる。
- 似た文献の要約／要点抽出／比較は得意
- 例 : 「この2つの発明、何が違う？」→ ChatGPTで論点整理

扇風機付き日傘調査

<https://chatgpt.com/share/68767e51-4d94-8004-8ec1-3e7d57285db3>

特開2009-39492

<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/c1801/PU/JP-2007-230782/10/ja>



📄 明細書作成の基本的な流れと、ChatGPTの使いどころ

🌀 Step 1 : 発明の整理と要素の言語化

- 発明の「課題」「構成」「効果」を言語化
- ChatGPTには最初、**課題ベースで問いかけると◎**
例：「この技術において、どんな課題が想定されますか？」

📝 Step 2 : 各段落（背景技術・課題・解決手段・効果）の作成

- ChatGPTに1段落ずつ、**順番に出力させる** → まとめて出すと浅くなりがち
- 1つずつ丁寧に出力させて、**人間が整える／問い返す**

🏗️ Step 3 : 実施形態の構造化

- 「構成の説明→動作→効果」の順に書く
- ChatGPTには、**1構成ずつ段落で出力させる指示**が有効
- 構成図と一体で考えると精度UP

🔍 Step 4 : 記載のチェックとブラッシュアップ

- 書けた段落をChatGPTに**レビューさせる**
→ 言い回しの統一／構成の過不足／整合性チェック
- 「変形例を3つ挙げてください」などの応用出力も可能

<https://chatgpt.com/share/6877ae73-f990-8004-9b6b-d91cd4065f68>

明細書初級レベル作成



✨ 私のような実務者なら...

💡「この流れを踏まえたうえで、ChatGPTとの**対話の中で明細書を育てる**ことができます。

1回で書かせるのではなく、**段階的に、構造的に、そして実務に合わせて組み上げていく。**

それが“高度な使い方”の入り口です。」

※ただし、これが出来る弁理士は、まだ日本には、ほとんどいません。

6 : 実例④ : 商標名の候補出し・比較

- たとえば新製品の名前を10案出して→ChatGPTに「女性向けで覚えやすく」と指定
- 商標登録できるかどうかは別として、“言葉を探るプロセス”に極めて有効

商標検討

<https://chatgpt.com/share/687687a1-9920-8004-924f-6374899b56cf>

ソヨシードにとりあえず決定



14 : 55~15:25 15/20

6 : 実例④ : 商標名の候補出し・比較

商品イメージ画像生成



6 : 実例④ : 商標名の候補出し・比較

商品イメージ画像生成

A woman walking on a sunny summer street, holding a stylish parasol with a built-in fan. The parasol is open and gently blowing air from the center of the handle, creating a cool breeze around her. The design of the parasol is soft and elegant, in pastel tones like light blue or soft lavender, with translucent edges that catch the sunlight. Her hair and dress flutter gently in the breeze. The scene feels refreshing and airy, with sunlight filtering through tree leaves. The mood is natural, calm, and uplifting, capturing the concept of "SoyoShade" — a parasol that creates a gentle breeze like a whispering wind. Include details like soft shadows, clear blue sky, and slight wind motion.



Adobe Fiirefly

7 : 実例⑤ : 契約書（NDA）を一緒に考える

- 中小企業では契約書に弱い…でもChatGPTなら項目案を出してくれる
- 例 : 「試作を頼むときに秘密を守る契約にしたい」→ 基本構成を提案
- 弁護士に相談する前段階として、“**整理案をつくる相棒**”
- 他にも、知財の契約、知財以外の契約のたたき台が可能

契約書デモ

<https://chatgpt.com/share/6876860d-1d90-8004-9364-6e0abb963830>



8 : なぜ今、AIと一緒に知財を書けるのか？

- かつては、「発明する人」「書く人」が分かれていた
- でも今は、自分で考えて書く時代
- それを支えてくれるのがChatGPT = 「あなたの文章の“土台”を整えてくれる存在」

9 : 弁理士でさえ、この使い方ができる人はまだ少ない。でも…

- ChatGPTで出願書類を作っている弁理士は、まだ極々ほんの一握り
- 私は、誰よりも手を動かして試し、磨いてきた
- だからこそ、自信を持って言える : 「あなたにもできる」

✓ 目的の再確認（このパートの出口）

- ChatGPTは「発明の相談相手」「整理の相棒」「文章化の手助け」として非常に有効
- 特許・契約・商標といった“言葉の仕事”は、ChatGPTでここまでできる
- 「ChatGPTでここまでできるなら、自分の業務にも応用できそう」と思ってもらおう
- じゃあ、弁理士のような専門家はどうか・・・
→ 同じように、ChatGPTを使っても、やっぱり、弁理士が使うとアウトプットが全く違うよねと言われるようにならない弁理士は、淘汰される時代

※特許庁は、今後、AIで審査するでしょう。AIが読み取れる文章はAIが作らなければ、理解しにくい弁理士の作った文章はノイズ扱い！

第4部 “やるべきこと”ではなく、“やらなくていいこと”を手放すために使うAI

1：中小企業で「明日から始められる」ChatGPT活用

- 「AIを使え」と言われても、何からやればいいのか分からない…という声が多い
- でも大事なのは、「何をAIに任せるか」を決めること
- まずは**“言葉にするのが苦手な仕事”から使ってみてください**

2：向いている業務／向いていない業務の見極め

向いている仕事	向いていない仕事
文章のたたき台／要点整理	法律判断や数値精度が要求される処理
ネーミング・企画案	会計処理・給与計算などルールベース業務
契約書の構成整理	社内の決裁ルール運用
社内報・チラシの原稿	手作業の現場処理

- ChatGPTは、「人間の代わり」ではなく、「人間の助走路」
- 自分の考えを整えてくれる。だから**判断は人間がするままでいい**

3：最初にやるべきは、“業務の棚卸し”

- 毎日やっていることを、書き出して分類してみる
- 「頭を使っている時間」と「体を使っている時間」と「パソコンに打ち込んでいる時間」
- **その中で「考える時間」を増やすために、AIをどこに挟むか考える**

4：知財＝権利 ではない。「創造的活動」そのものが知財です

- 新商品のアイデア、キャンペーンの企画、展示会の導線づくり…
- それらはすべて「知財のタネ」
- AIは「思いつき」を「言葉」に、「直感」を「伝わる形」に変える
→伝わる形に表現することで、周りの人の共感が得られる。**

5：AIを使うことで“人間らしい仕事”に戻る

- 本来、人は**“考える”“感じる”“組み合わせる”**が得意
- しかし、現代社会、情報にあふれて、日々、追われている。
- AIが整理してくれることで、そこにもう一度集中できる
- ChatGPTは、“脳の呼吸スペース”を与えてくれる存在

6：白馬村の弁理士がやっている理由も、ここにあります

- 私は、都会ではなく、人口8000人足らずの白馬村で弁理士をやっています
- この仕事は、かつては「都会でなければできない」と思われていましたし、いまも、99%以上の人がそう思っています。
- でもChatGPTを使うことで、場所も、規模も、肩書きも超えて働ける時代になった。それを実証しています。
- 田舎に住みましょうと言っているわけではなくて、頭の使い方を変えてくれるのが、ChatGPTです。

 7：この講演は、AIの話じゃありません。あなた自身の話です。

- この90分を通じて話したのは、技術ではなく、“生き方の選択肢”
- 情報に疲れた時代を、どう乗り越えて、どう創造的に働くか
- ChatGPTは、その“最初的一步”をそっと支えてくれるだけです

 **まとめスライド：あなたの「もうひとつの脳」と、今日から始めてみよう。**

- ChatGPTを「使う」のではない、「一緒に働く」と考える
- このあと、もしスマホでも使ってみたら——きっと世界が変わって見えるはず

今後のセミナー登壇予定（2025年）

今後の登壇予定（抜粋）

7月25日（金） 長野県「知的財産フォーラム2025 in 長野」
→講義のあと、企業のパネリストとアイデアの模擬ブレストを行います。

8月29日（木） 株式会社情報機構 主催WEBセミナー
→知財の実務をがっつり話します。5 時間生配信！！

9月24日（火） 一般社団法人 企業研究会 主催WEBセミナー
→知財の実務に加えて、これからの特許事務所との付き合い方も話します。3 時間生配信！！

 割引制度もございますので、詳細・お申込みは、**弊所Webサイトにてご案内しています。メールでもお気軽にご連絡ください。**

質疑応答 & 感想共有タイム

本日の受講、ありがとうございました。

今日は、知財に詳しい方も、
そうでない方も、
それぞれの立場から
ChatGPTを見つめる時間にな
ったかと思います。

専門的な話だけではなく、
「働き方」「考え方」「未来の
選択肢」という観点も
少しでも感じていただけてい
たらうれしいです。

「このあとは、何でもお話しください」

 話題ジャンル	内容例
 ChatGPTの使い方	プロンプト設計、API、plusと無料 の違い など
 知財の実務的な話	出願戦略、契約書、特許分類... なんでもOK
 感想だけでも	「少し前向きな気持ちになれた」な ども歓迎です

「なんでも聞いていい」

そんな時間が、きっと今日の話の延長線になります。

ありがとうございます
ございます

たかやま特許商標事務所

<https://takayama-patent.com/>

お気軽にご連絡ください。

所長 弁理士 高山嘉成